

市況等に関する月例報告書（平成27年6月分）

部 門	市況の概要
<p>(青果部の動向) 全 般</p>	<p>6月の総入荷量は、5月の高温と乾燥で遅れていた主力産地からの出荷が梅雨入り以降の降雨で回復するとともに、夏産地の入荷がスタートし、前年同月比で4%上回り、単価は安値だった前年同月比で14%上回った。</p>
<p>(区分別の動向) 野 菜</p>	<p>6月期の野菜の市況は、品薄だった5月から数量も回復した品目も多く、夏産地の入荷も前倒しとなったため、入荷量は前年同月比5%上回ったが、産地や作型移行期にあたる品目もあって全体として高値基調で推移し、単価は前年同月比17%上回った。</p> <p>根菜類は、前年同月比入荷量は11%上回り、単価は20%上回った。 葉物類は、入荷量は前年同月並み、単価は20%上回った。 果菜類は、前年同月比入荷量が8%上回り、単価は11%上回った。 土物類は、前年同月比入荷量が4%上回り、単価は39%上回った。</p> <p>7月は、京野菜の代表である賀茂ナス、万願寺トウガラシの入荷が最盛期を向かえるほか、中国から松茸（早松茸／さまっだけ）が入荷される。</p> <p>賀茂ナスは、亀岡、綾部、京丹後、上賀茂地域を中心に入荷が見込まれる。入荷量は、春先からの天候不良が影響し、特に綾部のハウス物の作柄が悪く、入荷量は前年をやや下回る見込みである。価格は、入荷量の減少が見込まれることから、前年をやや上回るものと思われる。</p> <p>万願寺トウガラシは、舞鶴、綾部、福知山を中心に山城地域から入荷される。入荷量は、昨年が7月に集中出荷となり、非常に価格が安かったこともあり、入荷はやや下回ると思われ、単価は、安かった昨年を上回ものと思われる。</p> <p>松茸は、7月は、中国雲南省・四川省およびメキシコ等から出荷される。主力産地となる雲南省産は4月～6月の降雨が少なく気温も低かったため発生が遅れており、現地での出荷の遅れにより、せり開始は例年より10日ほど遅れた。入荷のピークは20日頃となる見込みで、祇園祭等で高まる需要に対し十分な供給が見込めず、高値となる可能性が高い。</p>
<p>果 実</p>	<p>6月期の果実の市況は、春先の天候不良や5月の高温、輸入果実においては円安による原価高も影響し、入荷量は、品目により増減があるものの前年同月並みとなった。価格は、産地価格の高騰や円安による品薄感が影響し、前年同月比で単価が3%上回った。</p> <p>柑橘類は、前年同月比入荷量が10%上回り、単価は7%下回った。 リンゴ類は、産地の残量が少ない中、小玉を中心に引き合いが強く、前年同月比入荷量が8%下回り、単価は14%上回った。 イチゴ類は、前年同月比入荷量が10%下回り、単価は3%上回った。 メロン類は、前年同月比入荷量が16%下回り、単価は4%上回った。 スイカ類は、入荷量は前年同月並み、単価が8%下回った。</p>

7月の季節商材としては、桃が山梨、和歌山を中心に入荷されるほか、大玉スイカの各産地が出そろい、最盛期を迎える。

桃の今年の作柄は、開花期の降雨不足により、豊作だった前年比9割程度、核割れにより秀品率も低下している。一方で、ゴールデンウィーク明けの高温で玉の生育状況は良く、昨年より大玉傾向となっている。例年より5日程度の前進出荷となる見込み。

大玉スイカは、鳥取県が上旬に終了し、石川県、愛知県、長野県、秋田県、山形県から入荷が見込まれる。入荷量は、秋田県、山形県は生育が良好で5日程度の前進出荷となる見込みであり、前年をやや上回る入荷量が見込まれる。単価は、7月の気温の影響が大きいですが、入荷増の傾向と秀品率が低い産地もあり、前年をやや下回るものと思われる。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	<p>長崎を中心に鹿児島，千葉から入荷され，入荷量が前年同月を5%上回ったが，加工業務関係の荷動きが活発となり，単価は3%上回った。</p>
西洋ニンジン	<p>和歌山，兵庫及び長崎から入荷され，入荷量が前年同月を31%上回ったが，全般的な高値基調の影響で，単価は太物が多く引き合いが弱かった前年同月と比べ，61%上回った。</p>
【葉菜類】 ハクサイ	<p>九州産と茨城産の出荷切り上がりが高く，大部分が和歌山から入荷されたが，入荷量が前年同月を18%下回った。絶対量不足から加工業務関係の荷動きが活発となり，単価は62%上回った。</p>
キャベツ	<p>岐阜，茨城，北海道，京都，滋賀から入荷され，入荷量が前年同月を5%上回ったが，一般消費用・業務加工用ともに荷動きが活発となり，単価は22%上回った。</p>
ホウレンソウ	<p>徳島，福岡，岐阜，京都，滋賀から入荷され，入荷量が前年同月を14%上回り，単価は安値だった前年同月を4%上回った。</p>
レタス	<p>長野を中心に兵庫等から入荷され，4月中旬までの降雨が影響して出荷量は前年同月並み，単価は7%上回った。</p>
【果菜類】 キュウリ	<p>冬春産地の宮崎，高知，半促性の福岡，京都，滋賀から入荷され，入荷量が前年同月を4%下回り，単価は量販店や漬物関係の引き合いから，6%上回った。</p>
ナス	<p>高知，岡山，熊本，福岡，京都から入荷され，入荷量が前年同月を5%上回り，単価は中旬以降の品薄が影響し9%上回った。</p>
トマト	<p>熊本，福岡のハウスものを中心に，京都，滋賀，奈良からも無加温栽培のものが入荷開始し，入荷量は前年同月を19%上回り，単価は安値だった前年同月を16%上回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎を中心に高知，茨城から入荷され，入荷量が前年同月を3%上回り，単価は下旬以降の品薄により38%上回った。</p>
【土物類】 バレイショ	<p>長崎，熊本を中心に，静岡からも入荷され，降雨の影響で入荷量は</p>

(メーカー含む)	前年同月より6%下回り、数量不足と全般的な高値基調の影響で、単価は70%上回った。
タマネギ	兵庫を中心に佐賀等から入荷され、入荷量が前年同月を7%上回ったが、佐賀県産の品質不良で品薄感が高まり、単価は20%上回った。
【その他野菜】	
青梅	和歌山を中心に福井、奈良、京都から入荷され、4月の長雨と5月の台風の影響で、入荷量が前年同月を11%下回り、単価は9%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	和歌山を中心に、佐賀、長崎、大分、宮崎から入荷され、入荷量が前年同月を6%下回り、単価は3%上回った。
ふじ	青森から入荷され、在庫が少なく産地価格が高かったため、入荷量が前年同月を18%下回り、単価は18%上回った。
桜桃	山形を中心に山梨、長野、北海道から入荷され、入荷量が前年同月を14%上回り、単価は7%下回った。
デラウェア	奈良と大阪から入荷され、入荷量が前年同月を18%下回り、単価は6%下回った。
アールスメロン	静岡を中心に熊本、高知、京都から入荷され、入荷量が前年同月を19%下回り、単価は3%上回った。
アンデスメロン	茨城から入荷され、前年同月を12%上回り、単価は前年同月を4%下回った。
大玉スイカ	熊本、長崎、鳥取から入荷され、入荷量前年同月並みとなり、下級品が多く単価は前年同月を9%下回った。